

令和6年度第2回山形市社会福祉審議会障がい者福祉専門分科会 会議録

- 1 日 時 令和7年2月12日（水） 午前10時00分から午前11時00分まで
- 2 場 所 山形市役所庁舎 7階 701A会議室
- 3 出席者
 - (1) 委 員：5名
内和委員、佐田委員、田中委員、増川委員、森谷委員
 - (2) 事務局
松浦福祉推進部長
障がい福祉課
清野課長、齋藤課長補佐、清野課長補佐（兼）障がい福祉第一係長、遠藤管理係長、
太田給付係長、若月主任、菖蒲主事
- 4 傍聴者
 - (1) 一般傍聴者 なし
 - (2) 報 道 機 関 なし
- 5 議 事
審議事項
議案第1号 山形市第5次障がい者基本計画（案）の審議 資料：資料2～4
議案第2号 山形市第5次障がい者基本計画（案）の答申内容の確認 資料：資料5
- 6 審議経過
 - (1) 開 会
 - (2) 議事
審議内容は以下のとおり
村松会長不在のため、会長職務代理者の森谷委員が議長を務める。

事務局：（議案第 1 号及び第 2 号について、資料に基づき説明。）

議長：説明に対して、質問・意見を募る。

委員：現在福祉避難所として指定されている場所を基本計画に記載してはいかがか。

事務局：福祉避難所の数及び内容を充実させることを検討している。基本計画での記載については、今後の目標等についての記載であることをご理解いただきたい。

議長：福祉避難所の認知については、前回の審議でも問題として取り上げたところである。個別避難計画の作成推進に合わせて、福祉避難所を市民に周知することが必要。

事務局：現在指定されている福祉避難所を山形市公式 HP にて掲載しているが、市広報等を利用した周知も行い、市民への周知を強化する。

委員：資料 4 に、障がい福祉サービス事業所の空き状況の見える化について、山形市障がい者自立支援協議会で検討すると記載されているが、協議会でどのように検討していくのか。

事務局：事業所の空き状況の見える化については、毎月実施している山形市障がい者自立支援協議会事務局会議で一度検討したが、事業所の負担が増えるという課題が残った。負担が掛からない仕組みを引き続き検討していく。

委員：資料 4 について、民生委員・児童委員との連携強化を図ると記載されているが、地域の中心で活動されている町内会長にも個別避難計画を作成する際には協力いただくことになると思う。基本計画にも町内会長という文言を追加するべきではないか。

事務局：資料 3 の基本計画において、「障がいのある方と地域の支援者の相互の理解が深まるとともに、平時からの協力を得られるような関係の構築」と記載しており、市としても民生委員・児童委員だけではなく、町内会や自治組織を含めた地域の方々と連携しながら計画を進めていきたいと考えている。

議長：資料 3 の P 4 2 において、地域での相談体制の充実を図る目的で、「施策の内容」に民生委員・児童委員の研修会等に対しての講師派遣等が記載されているが、この部分に町内会などが含まれていることが分かる記載になれば良いということか。

事務局：ここでの記載は、障がいのある方の身近な相談先として、民生委員・児童委員、障がい者相談員の方を列挙している。個別計画の作成に関しては、P 6 1 に「行政、町内会等の自治組織、自主防災組織民生委員・児童委員、福祉団体等が連携し、地域における支援体制を整備していくことが必要」と記載しており、町内会を含めた支援体制を想定している。

議長：議案について、他に質問や意見はないか。

答申書については、村松会長からもご確認いただけると連絡を受けている。答申書の最終的な確認は、村松会長に一任するという事で、よろしいか。

委員：異議なし。

7 その他

委員：心のバリアフリー推進員養成研修会について、同じ内容の研修が開催されていると感じている。

事務局：当事業は、山形県と共同で実施している事業である。いただいたご意見をもとに、より良い研修にするべく山形県と協議していく。

委員：内容を変えて開催することで、参加者の増加を見込めるのではないかと思う。

事務局：委員の属する団体に講師を依頼することは可能か。

委員：講義の内容にもよる。

委員：障がい者の方で就労継続支援施設で職員として働いている方が増えている。そういった方々の話を聞く機会があれば、障がい者の就労について知る機会にもなるかと思う。

事務局：基本計画では、障がい者差別の解消に向けて、差別解消・権利擁護に関する研修会の回数の増加を目標として定めている。これまでは市役所で開催したものに参加いただくような形で開催していたが、こちらから地域の研修会に出向く出前講座も検討している。その研修会でも当事者の方の話を聞くことができればと考えている。当事者の方の話を聞くことは、障がいについて考える機会になるので、ぜひご協力いただきたい。

議長：障がい者のことを地域の方々に知ってもらうことは、障がい者差別の解消に重要なことである。一方で、施設や特別支援学校等も地域に対してより開かれたものにする必要がある。障がいのある方が、地域の方々から見守られながら、地域の一員として生活できるよう、計画に基づき施策を推進していただきたい。

8 閉 会